広報 隠岐(おき)の島

2016
6

特集

文化財から歴史を紐解く

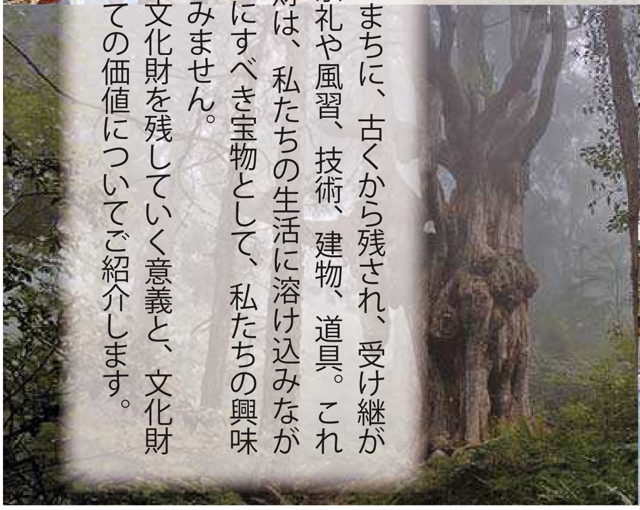
投票は政治参加の第一歩　選挙制度改正
防災マップ・避難所表示板を作成

水若酢神社祭礼風流　5月3日（水若酢神社）
2年に一度行われる、水若酢神社祭礼風流。写真は、流鏑馬の様子です。的に矢が刺さると大きな歓声と拍手が起こりました。
（７ページまちのできごとにも掲載。）

特集1 文化財から歴史を紐解く

私たちのまちに、古くから残され、受け継がれてきた祭礼や風習、技術、建物、道具。これらの文化財は、私たちの生活に溶け込みながらも、大切にすべき宝物として、私たちの興味をひいてやみません。

今回は、文化財を残していく意義と、文化財の資料としての価値についてご紹介します。



写真上：玉若酢命神社御霊会風流
写真右下：水若酢神社　写真左下：乳房杉

文化財を残していくこと

文化財は、過去から引き継がれた遺産であり、一度消滅すると二度と取り戻すことができません。「文化財は、守り残すべきもの」という認識は、多くの人が持っているのではないでしょうか。

また、文化財は、それが残された地域の過去の姿を読み取るための、貴重な資料であることもよく知られています。文化財保護法第三条には、文化財は、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであるとされています。

平神社古墳

文化財がただ古いから残す必要があるのではなく、私たちの住む地域を知りこれからの地域を発展させるために不可欠な基礎であるため、残していく意義があるのだと考えます。

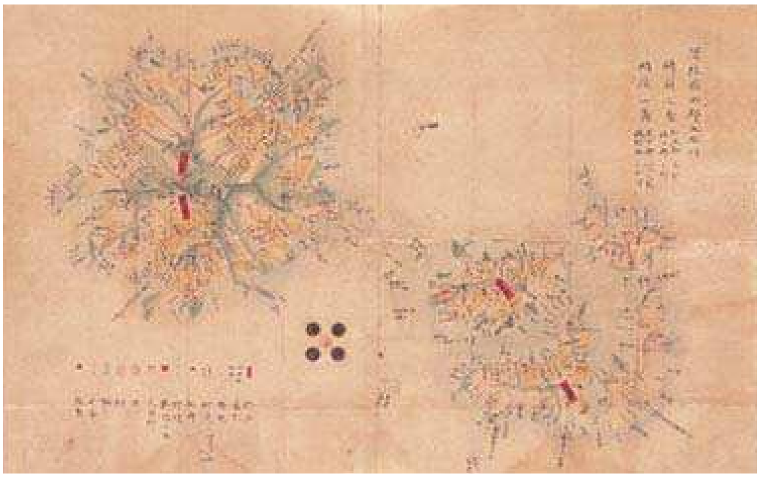
これら文化財は、「玉若酢命神社祭礼風流」のような祭礼、「佐々木家住宅」のような建造物、史跡・天然記念物など、様々に位置づけられていますが、どれも過去から現在へと伝わった、かけがえのない地域の宝物です。

八朔牛突き大会

歴史を描く古文書

「古文書（こもんじょ）」は、その本来の役目を終えた文書のことで、昔の法律（触書）や手紙、日記、メモなどがあります。古文書を読み解いていくと、隠岐の現在と変わらない姿が伺われると同時に、変化した様子を伺うことができます。

私たちが学んできた日本の歴史の多くは、地域に伝わった古文書などの歴史資料に基づいて調査され、明らかにされてきました。



池田家（大仲）文書『隠岐国四郡五拾村絵図』
隠岐の島町教育委員会所蔵

ここでは、古文書が今に伝える隠岐の島町の姿を一部ご紹介します。島の昔の様子を少しのぞいてみましょう。

●古文書から分かる隠岐の昔

「もうひとつの島の玄関口　津戸村と隠岐航路」

江戸時代の隠岐の地誌を記した『増補隠州記』には、江戸時代の隠岐の村々の地誌が記されています。例えば、「津戸村」では周辺の島についても陸からの距離や、島の大きさなども掲載されています。その内の大森島については、集落から約８km離れた西南西の方にあり、大きさは縦が約550m、横が約220mで、周辺の海の深さは、約5.4mから約９mとしています。また、その他にも、鮑、栄螺（さざえ）、和布（わかめ）、海苔、海松（みる）等の島の周辺の海産物のことについても記述があり、大森島付近の変わらない姿を伺うことができます。

一方で同じ津戸村の記事の中に、津戸と蛸木から島前の豊田（海士町）へ「継飛脚（つぎびきゃく）ノ役勤」とあり、当時、幕府による公用文書伝達の制度が島後と島前の間にあったことが記されています。また、『隠岐国四郡五拾村絵図』には、隠岐諸島の全体が描かれています。津戸・蛸木と島前の豊田との間に、破線が引かれています。島後と島前を結ぶ線は、この破線のみで、この航路が当時重要なものであったことが考えられます。現在の主要航路とは異なる航路をこれら古文書から伺うことができます。

このように、古文書に記された内容を古文書同士や、時には種類の異なる複数の史料から検討することで、より深く隠岐の歴史を考えることができます。古文書をはじめ、町内に伝わった文化財は、どれも隠岐がどのような足跡を辿ってきたのか、現在に伝えてくれる貴重な存在です。

古文書を読んでみよう　古文書講座開催中

古文書講座を隠岐島文化会館で開講しています。講座では江戸時代の隠岐の地誌『増補隠州記（ぞうほいんしゅうき）』と布施からの船が朝鮮へと漂着した事件を記した『隠州島後布施村権右衛門船朝鮮漂着口上書写し（いんしゅうどうごふせむらごんえもんせんちょうせんひょうちゃくこうじょうしょうつし）』を読みながら、「くずし字」の読み方を学びます。

古文書は、さまざまな知識や想像力を働かせながら読まなければならないため、脳のトレーニングにもなります。初めのうちは、慣れない文字に戸惑うかもしれませんが、今からでも遅くありません。お気軽にご参加ください。

■講　師：松本美和子氏
（山陰中央新報文化センター他の古文書講座を担当）
■開催日：毎月第２木曜日
■会　場：隠岐島文化会館　集会室
■主　催：隠岐の島町古文書研究会
■お問い合わせ先：教育委員会生涯学習課　電話　２－２１２６

文化財を守る

●歴史資料を失わないために

地域やご自宅に残されてきた歴史資料は、地域の歩みを知るための重要な手掛かりとなります。これらの資料を研究し、隠岐の島町がどのような過程を経て成り立ってきたのかを考えることは、今後の町づくりの方向性を定める上でも大切なことです。

教育委員会では、これら重要な資料を永く残していくため、資料に関する情報の収集を行っています。また、ご自宅で資料の管理にお困りの場合には、寄贈（所有権を町に移転）や、寄託（所有権は、そのままで教育委員会が管理）など、状況に応じて資料を保管させていただきます。

●情報をお寄せください

ご自宅に眠っている貴重な資料は、みなさまからの情報提供があって初めて世に知られる場合があります。失われていく資料を、少しでも多く後世に残していくために、みなさまからの情報提供が重要なカギとなります。

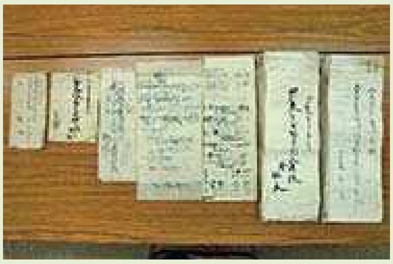
特に、家の建て替えや蔵の解体、季節の大掃除、地下の作業などの際には、眠っていた資料が見つかることが多くあります。「○○で古そうな紙束を見た」などお気づきの事がありましたら、どんな情報でも結構ですのでお気軽に教育委員会までご一報ください。

町全体で文化財を守る意識を高め、地域の歴史や文化を守り、次の世代に引き継いでいきましょう。

今後も文化財行政にご理解、ご協力のほど、よろしくお願いします。

■文化財に関するお問い合わせ
隠岐の島町教育委員会
生涯学習課文化振興係
電話2-2126

歴史資料ってどんなもの？



墨で書かれた古い帳面や書状、道具、写真、音声・映像フィルム、寺や神社などの記録、行政区や財産区といった各種団体の記録など、家々の記録や地域の歴史を物語る全てが保護の対象となります。これらの資料は、虫食いやカビで状態が悪くなっている場合が多く廃棄されてしまうことも多々あります。ただ、いくら状態が悪くても貴重な資料ですので、お困りの際にはご連絡ください。

【こんな場所にあります】

- ▼蔵
- ▼タンス
- ▼神棚
- ▼物置
- ▼衣装箱
- ▼襖の下張り

特集2 投票は政治参加の第一歩 選挙制度改正

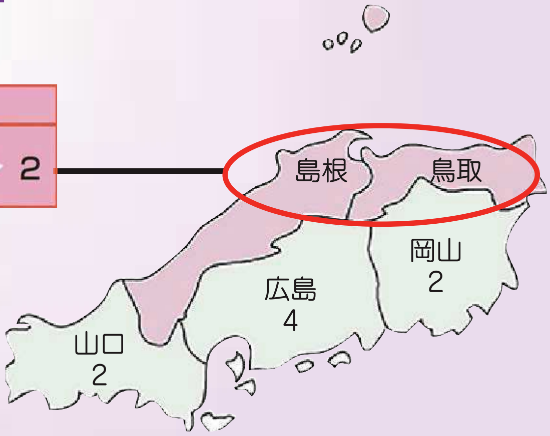
平成27年6月、公職選挙法の一部が改正されました。これにより、本年6月19日以降に告示される国政選挙から、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられます。隠岐の島町では、約180人の新有権者が誕生する予定です。

ここでは、選挙を身近に感じてもらえるよう、投票しやすくする制度や、選挙区の改正などについて紹介します。

改正 「島根・鳥取」が合区に

公職選挙法改正により、今年の参議院議員通常選挙で、島根県と鳥取県の選挙区が「合区」になります。

「合区」とは、人口の少ない選挙区を近くの選挙区と「合併」して、人口の多い選挙区との1票の格差を縮めることで、島根県と鳥取県の2つの県をまとめて1つの選挙区とするものです。



定数		
鳥取	2	→ 2
島根	2	

島根県、鳥取県の定数は、現在、各県2ずつありますが、今回の改正で、島根と鳥取の合区で、定数2となります。

2つの県の合計では、4から2に減少します。

投票しやすくする仕組み

「選挙当日、仕事や旅行の予定があり、投票に行くことができない」、「入院中のため投票に行けない」などの方は、以下の投票制度をご利用ください。

①期日前投票

投票日当日、仕事やレジャーなどで投票できない人が事前に投票する制度です。

町では、役場本庁、各支所で実施しています。

②不在者投票

入院先の病院や、入所している老人ホームなどで（指定されている施設に限る）で投票する制度です。

また、仕事や旅行などで町外に長期滞在している場合は、滞在先の市町村の選挙管理委員会で不在者投票ができます。

③郵便投票

「身体障がい者手帳」か「戦傷病者手帳」を持っており、所定の要件を満たす人、また、介護保険の被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」の人が郵便を利用して投票できます。

選挙権年齢の引き下げにあたり、選挙についての出前講座を行いました。

今夏から高校3年生の一部が、投票できるようになります。隠岐の島町選挙管理委員会では、3月22日、隠岐高校生徒2年生を対象に、出前講座を行いました。

選挙の際の注意事項や、選挙に関する規則について説明しました。

私たちが、よりよい暮らしを願って、私たちのかわりにその思いを実現してくれる人々を選ぶ制度が「選挙」です。

私たちは、選挙をすることで、暮らしや社会づくりに参加しているとも言えます。私たちの大切な一票で、日本の未来を作りましょう。

■お問い合わせ先
隠岐の島町選挙管理委員会
電話2-2111

4/3 太古より続く巨木信仰
大山神社祭礼 布施の山祭り

布施地区の大山神社で、県指定無形民俗文化財の「布施の山祭り」が行われました。

神木に帯（カズラ）を巻きつける「帯締め神事」では、前日に山から伐り出した大カズラを、唄にあわせ、若者たちが神木の前で激しく揺さぶりながら巻き締め、山仕事の安全を祈願しました。

祭りには、約200人の見物客が訪れ、勢いよく巻きつける様子に、大きな歓声を上げました。

掛け声とともに、神木にカズラを巻く若者たち

4/10 子どもの成長願い込め
第24回隠岐いぐり凧祭

春の風物詩、第24回隠岐いぐり凧祭が、隠岐の島町総合運動公園で行われ、子どもたちの健やかな成長と無病息災を願いました。

昨年中に産まれた、124人の子どもさんの名前を書いた祝い凧揚げのほか、大小22の凧が揚がりました。

なお、揚げられた祝い凧は、隠岐島文化会館ホワイエに展示されています。

直径約2メートルの二枚の祝い凧が舞い上がる様子

4/17 荒天の山道を走る
布施の山伏マラニック

第10回布施の山伏マラニックが、布施町民体育館をスタート、ゴールに開催されました。

大満寺山頂や鷲ケ峰を通るコースでしたが、当日未明に降った雨の影響で、一部を変更して行われました。

25人の参加者の皆さんは、強風や山道に悪戦苦闘しながらも、大自然の中でのランニングを楽しみました。

また、レース前には、国際トライアスロン連合公認コーチの母里充（もりみつる）さんによる講習会も行われ、体に負担をかけずに速く走るフォームなどを学びました。

母里充さんによる
講習会の様子

天然林の中を走る参加者

4/21 数十年ぶりの雨中で公開
隠岐国分寺蓮華会舞

隠岐国分寺に伝わる、国指定重要無形民俗文化財の蓮華会舞が、隠岐国分寺境内で行われました。

蓮華会舞は、日本に大陸文化が輸入された平安時代に、宮廷雅楽として伝来し、現在は、隠岐国分寺蓮華会舞保存会によって大切に受け継がれています。

今年は、雨の中での公開となりました。悪天候にもかかわらず、年に一度の公開を見ようと、約100人の観客が訪れ、舞が終わるたびに、あたたかい拍手を送りました。

「太平楽之舞」

「麦焼き之舞」

4/24 先人たちの大事業に思いをはせる

隠岐国巡回講座

第14回隠岐国巡回講座「出雲大社造営～叡智と祈り～」が、隠岐島文化会館で開催されました。

講師は、古代出雲歴史博物館専門学芸員の岡宏三さんで、出雲大社の特色や遷宮の歴史、柱材などの森林資源確保について、ご講演いただきました。

現在の出雲大社は、高さが24mですが、古代のものはさらに高く、造営のための材料を調達するために、苦悩した記録が残されています。

講演には、約30名の方々が参加し、巨大木造建築に挑んだ先人たちの、並々ならぬ努力に、感嘆の声をあげていました。

出雲大社本殿の規模について説明する、講師の岡宏三さん

5/3 伝統の山曳きと流鏑馬

水若酢神社祭礼風流

隠岐三大祭の一つ、水若酢神社祭礼風流が、郡地区の水若酢神社で行われました。

蓬莱山と呼ばれる山車を、たすき、鉢巻きを付けた男子が曳く「山車曳き」のほか、「獅子舞」や「神楽一番立て」、「神幸祭」、「流鏑馬」などを奉納するといった神事が行われました。

祭りには、地区内のほか、五箇地区出郷者の方々も帰郷し、参加しました。

写真上：3本の矢を射る流鏑馬
写真下：山曳き神事で山車を引く氏子や子どもたち

4/29~5/8 花の女王、優雅に咲き誇る

第32回しゃくなげ祭り

第32回しゃくなげ祭りが、郡地区の村上家隠岐しゃくなげ園で開催されました。

来場した皆さんは、約2ヘクタールの山の斜面いっぱいに咲き誇る、約1万本の「オキシャクナゲ」を、観賞されました。

祭りの期間中は、農水産加工品の販売が行われたほか、5月4日には牛突き、5月5日は、弾き語りのコンサートが行われ、園内は、大いににぎわいました。

園内の散歩道を散策する様子

5/8 日ごろの感謝を込めて

隠岐温泉GOKA 45万5555人達成セレモニー

隠岐温泉GOKAでは、平成6年のオープン後、入浴者が累計45万人を超えました。

これを記念し、455,555人達成セレモニーを開催しました。

隠岐太鼓保存会による和太鼓の演奏のあと、達成者へ花束と記念品が贈呈されました。

セレモニー後は、語呂をあわせた4斗5升5合の餅投げや演芸、即売会なども行われ、たくさんの人でにぎわいました。

くす玉割りの様子。写真右から2人目が455,555人目達成者の吉山明水さん

まなびのひろば

隠岐の島町教育委員会事務局
電話2-2206（代表）

小学校・中学校の敷地内禁煙にご協力ください！

平成28年4月1日より隠岐の島町立小学校、並びに中学校は、敷地内禁煙となりました。

学校を利用される方は、敷地内での喫煙をご遠慮いただきますよう、お願いいします。

また、学校付近で喫煙される場合は、携帯灰皿などをご用意の上、吸い殻のポイ捨てなどをしないよう、ルールとマナーを守っていただきますようお願いします。

子どもたちが通う学校の環境改善にご協力ください。

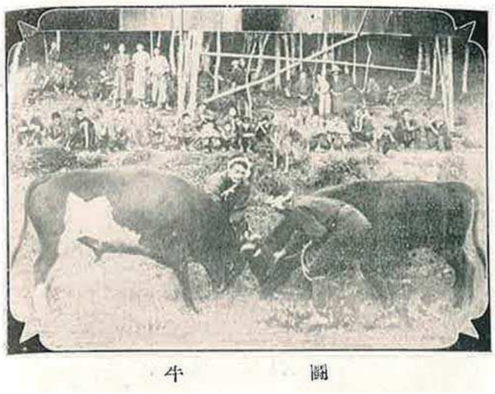
しまのたからもの！ 牛突きスペシャル 第3回

明治時代の牛突きについて

古い歴史を持つといわれている隠岐の牛突きですが、現在では大会のほかに観光でも実施され、多くの観光客がその様子を楽しんでいます。この観光としての牛突きは明治時代以降に始まったものですが、その当時、牛突きがどのように捉えられていたのか、資料から伺うことができます。

明治から昭和にかけて、隠岐を紹介する資料の中で、牛突きは、産業や観光の部分に見ることができます。島根県内務部が明治45年に発行した『島根縣産業案内』では、「隠岐には名物として各地に闘牛が行はれて居る」、「此の闘牛の結果は愛牛となり種質の改良發達の因をなして居るものと思はれる」として、隠岐では牛突きが行われていたことから、牛に対する愛着があり、牛種の改良に繋がっているとされています。現在でも畜産業は、隠岐の産業の中でも大きな存在ですが、明治時代には、そのきっかけの一端に牛突きという習俗があったと捉えられていたようです。

また、当時は、現在行われている牛突き大会のほかにも、東郷や島前でも大会が開催されていました。東郷で行われた大会について昭和8年の『隠岐島誌』に「近村より老若男女群集雑踏す」とあり、盛大な大会であったことがわかります。（図は、『島根縣産業案内』表紙と挿入写真より）



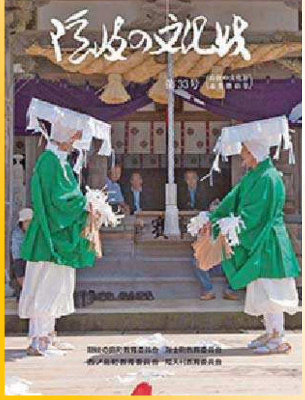
「隠岐の文化財」最新号完成

隠岐の文化財を知る・親しむ

教育委員会では、文化財の調査結果や、郷土研究者の論文などをまとめた、「隠岐の文化財」を発行しています。このたび、第33号が完成しました。教育委員会や書店などで販売を行なっているほか、隠岐の島町図書館での閲覧もできます。ぜひ一度手に取り、隠岐の文化財に触れてみてはいかがでしょうか。

「隠岐の文化財」第33号の主な内容

隠岐国海部郡の荷札木簡、知夫の蛇巻き、島後の荒神信仰、隠岐諸島周辺の海底から産出したナウマンゾウ化石　他



「隠岐の文化財」販売価格

第23号まで　1,000円
第24号～第33号　1,200円

平成28年度隠岐の島町体育協会 主催大会一覧

隠岐の島町体育協会では年15回の主催大会を計画しておりますので、町民の皆様のご参加をお待ちしています。

月　　日	大　　会　　名	会　　場　　名
5 月 8 日	隠岐の島町ターゲットバードゴルフ大会(終了しました)	岬コース
5 月 8 日	隠岐の島町ソフトテニス選手権大会(終了しました)	あいらんどパーク
6月26日	全隠岐相撲選手権大会	隠岐水産高校　相撲場
7月31日	社会人バレーボール大会	隠岐の島町総合体育館
9 月 4 日	隠岐の島町ゲートボール大会	隠岐の島町運動公園
9月11日	全隠岐テニス大会	あいらんどパーク
9月11日	全隠岐剣道選手権大会	西郷中学校
9月25日	全隠岐柔道選手権大会	西郷武道館
9月25日	隠岐の島町レディスバレーボール大会	隠岐の島町総合体育館
10月2日	隠岐の島シーサイド“風”マラソン大会	都万湾岸コース
10月23日	隠岐の島町バドミントン選手権大会	隠岐の島町総合体育館
11月13日	全隠岐駅伝競走大会	島内コース
11月20日	隠岐の島町水泳競技会	屋内温水プール
1月29日	隠岐の島町バスケットボール選手権大会	隠岐の島町総合体育館
2月12日	隠岐の島町卓球選手権大会	隠岐の島町総合体育館

図書館だより

隠岐の島町図書館

電話08512-2-2341 Fax08512-2-9198

●開館時間10時～18時 ●休館日（月曜日・第3日曜日）

※祝日が月曜と重なった場合は開館し、翌平日は休館

隠岐のふしぎ発見講座開催

今年度も、隠岐のふしぎ発見講座（全３回）を開催します。

テーマは、「植生」「歴史・文化・歳時記」「地形・岩石」などを予定しています。

詳しくは、隠岐の島町図書館までお問合せいただくか、館内配布のチラシをご覧ください。

開催日：

第1回　6月26日（日）午後予定

第2回　10月23日（日）午後予定

第3回　11月27日（日）午後予定

場　所：隠岐の島町図書館　研修室

夜の穴場スポット

日が長くなって図書館が夜も開いていたらいいのに･･･と思われている方はいらっしゃいませんか？

実は、五箇生涯学習センターの図書室が夜10時まで開いているのです！（月曜日のみ17時まで）

隠岐の島町図書館と公民館図書室は、すべてネットワークでつながっているので本を借りたり返したりはもちろん、予約やリクエストをすることもできます。

ぜひご利用ください。

6月の休館日のお知らせ

6月の休館日は 6日（月）、13日（月）、19日（日）、20日（月）、27日（月）です。ご利用の際は、お気をつけください。

行政かわらばん

ふるさと隠岐の島応援寄附金について

ふるさと隠岐の島町を愛し、まちの発展を願う皆さまからの応援寄附をいただき、心からお礼を申し上げます。

平成27年度にいただきました、寄附金の状況についてご報告します。

寄附金は、「隠岐の島ふるさと応援基金」に積み立て、各種事業に活用させていただくこととしています。

町では、ふるさとを愛する皆さまからの寄附金を引き続き募集しておりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

●平成27年度は、496名の方にご寄附いただきました。

前回（広報「隠岐の島」平成28年2月号）にご紹介したのちに、ご寄附いただいた方については、紙面の都合により、隠岐の島町ホームページでお名前をご紹介させていただきます。（氏名の公表を希望された方のみ）

●寄附金の額など

平成27年度にご寄附いただいた額は、左表のとおりです。

平成27年度寄附合計金額（3月末）		15,281,195円
内訳	青少年教育または地域文化の振興に資する事業	515,000円
	医療または保健・福祉の充実に資する事業	1,270,000円
	竹島の領土権の確立に資する事業	2,386,000円
	自然環境の保存・整備に資する事業	1,035,000円
	その他町長が必要と認める事業	1,237,000円
	指定なし	2,530,000円
	複数の事業指定	5,525,000円
	ジオパークに関する事業	783,195円

■お問い合わせ先
役場企画財政課企画調整係
電話2-8566

防災マップ・避難所表示板を作成

大雨などの自然災害と津波による浸水予想を表示した新しい防災ハザードマップと避難所表示板を作成しました。

●防災ハザードマップ

災害が発生する危険が高い区域と避難する所を記載しています。

さらに、津波による災害の参考として標高10メートルのラインを記載しました。

【記載項目】

①災害の危険が高い区域
・土砂災害の危険が高い区域
・地すべりの危険がある区域
・浸水の危険がある区域

②避難所
・一時避難場所・避難所
・指定避難場所・避難所

ハザードマップは、町を18のエリアに分けて作成しています。5月中に、各家庭へ、該当するエリアのハザードマップを全戸配布します。

気象状況によっては、想定より大きな範囲で被害が発生する可能性があります。

防災ハザードマップは、安全な避難行動の参考とし、周りの状況を把握して、的確な判断で自分の安全を守りましょう。

●避難所掲示板

対応可能な災害の種類や子供や外国人等でもわかりやすい表示を採用しました。

①対応可能な災害の種類を表示

②わかりやすい表示と多言語に対応
・やさしい日本語
・英語
・中国語（簡体字）
・韓国、朝鮮語

避難所表示板レイアウト

■お問い合わせ先
役場総務課危機管理室
電話2-2111

太陽光発電システムへの補助金について

町では、地球温暖化防止対策の一環として、環境への負荷の少ない自然エネルギーの普及促進を図っています。今年度、住宅用太陽光発電システムを設置される方を対象に補助金を交付します。

●補助対象者：町内で、住宅として使用している建物、または住居として使用する予定の建物に、未使用の住宅用太陽光発電システムを設置される方。（店舗・事務所などとの兼用は、可能です。）

●補助対象機器

低圧配電線と逆潮流有りで連系し、かつ、太陽電池の公称最大出力（システムを構成する太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値）が10Kw未満であるもの。

●補助金額：太陽電池の最大出力1Kwあたり1万円とし、4万円を上限とします。

なお、この補助金は、島根県の「太陽光発電等導入支援事業補助金」を充当します。

●申請期限：平成29年2月28日（火）

詳細や補助金の申請については、左記までお問い合わせください。

■ご申請・お問い合わせ先
役場農林水産課農林振興係
電話2-8563

こんにちは保健師です！ Part 54

しっかりと朝食を食べよう

朝食は、1日の活動源であり、バランスのよい朝食は、生活習慣病予防にもつながります。みなさんは、しっかりと朝食を食べていますか？

■若い世代で高い朝食欠食率

保育所や学校で、朝食摂取にむけた取り組みを強化した成果もあり、子ども達の朝食欠食率は、少しずつ改善してきています。

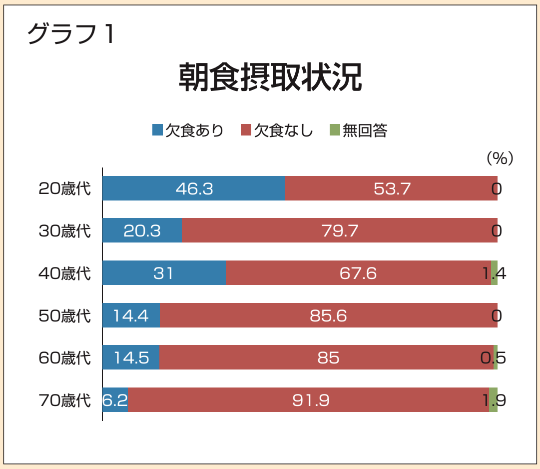
しかし、平成26年度に実施した隠岐の島町健康行動調査では、20歳代の約5割もの人が朝食を食べていない状況でした。これから子どもを生み育てていく年代で、欠食率が高く、子ども達への悪影響も心配されます。（グラフ1）

プレパパママ教室での栄養指導の様子

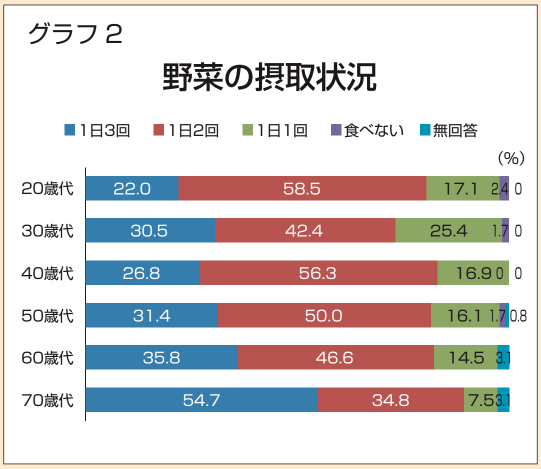
■朝食でも野菜を食べましょう

多くの人が朝食を食べていた60歳代、70歳代ですが、3食とも食べている人は、約半数でした。（グラフ2）

バランスのよい朝食をとるためにも毎食野菜を食べましょう。



平成26年度隠岐の島町健康行動調査より



平成26年度隠岐の島町健康行動調査より

■具だくさん汁でバランス朝食に

朝食に、野菜たっぷり具だくさんの汁はいかがですか？前の日にこの汁を作っておけば朝短時間で用意ができます。また、卵を落とせば、1品でバランスもよくなります。忙しい人にはおすすめです。

■6月は食育月間、みんなで食生活を見直してみませんか

町の保育所や学校では、「早寝、早起き、朝ごはん」運動を継続して実施しています。

6月は食育月間です。この機会に食生活を振り返り、町民みんなで、バランスのよい朝ごはん摂取を目指しましょう。

大型ショッピングセンターの野菜売り場には、野菜摂取をよびかけるポップを設置しています

■お問い合わせ先
役場保健課健康係
電話2-8562

バレーボールを通じ、西宮市と交流

4月16日、兵庫県西宮市から、ママさんバレーボールチーム「バーバリー」が来島し、島の旅を兼ねて、バレーボールの交流を行いました。

隠岐の島町に着いたメンバーは、バスで観光スポットを巡り、夜は、隠岐民謡に感動、夕食は、「まつり料理」を堪能しながら、有意義な時間を過ごしました。

17日には、磯小学校体育館で町のバレーボールチーム「どんぐり」と交流試合を行い、試合後は、「どんぐり」メンバー手作りの地元料理で懇親会を催しました。

練習試合の様子

「バーバリー」の皆さんは、絆が深まったことに喜びを感じながら、島を後にしました。

チームの主将の平井美佐子さんは、「旅と趣味を兼ねた小さな企画だが、誘客にも繋がるので今後も発信していきたい」と感想を話しました。

「バーバリー」と「どんぐり」の選手の皆さんによる集合写真

■お問い合わせ先
役場総務課広報広聴係
電話2-8572

「虹見坂」石碑の設置について

隠岐の島町ウルトラマラソンのゴール地点、レインボーアリーナへと登る坂道について、昨年公募により「虹見坂（にじみざか）」と名付けられ、このたび、レインボーアリーナ下の交差点に、石碑を設置しました。

石碑は、隠岐片麻岩で作られ、松田町長が書いた文字が刻まれています。

隠岐の島町ウルトラマラソン大会の概要については、裏表紙をご覧ください。

設置された石碑。裏側には「この坂を越えて捕もう明るいあした」と刻まれています。

■お問い合わせ先
隠岐の島町ウルトラマラソン事務局
（役場観光課内）
電話2-8575

農業委員会永年勤続者表彰 横地修さん、満田彰彦さん

平成27年度農業委員・農業委員会職員永年勤続功労者表彰実施要領に基づく、島根県農業会議の表彰で、隠岐の島町農業委員の横地修委員・満田彰彦委員が在職10年以上の永年勤続者として表彰されました。おめでとうございます。

横地さん、満田さんは、平成17年8月に農業委員に就任以来、10年以上の永きにわたり、町の農業振興に尽力されました。

横地修さん
（平地区在住）

満田彰彦さん
（上西地区在住）

テレサ・タイムス

ジオパーク・スペシャル 第34回

香港ライオンズクラブの皆さんが隠岐を訪問

香港ライオンズクラブの皆さんが隠岐に来てくれました

●ジオパークの繋がりから来島

4月4日から7日にかけて、香港から「香港ライオンズクラブ」の方々が、旅行で隠岐を訪れました。香港も世界ジオパークに指定されており、ジオパークのネットワークを通じて隠岐のことを知り、隠岐に来ることになったそうです。香港ライオンズクラブは、ジオパークとの関わりが深く、教育活動をはじめ、地元で様々な支援をされています。以前、香港ジオパークと連携している、阿蘇ジオパークに旅行で行ったこともあり、日本のジオパークも好きになったそうです。

●隠岐諸島の自然を満喫

国内の観光客では、珍しいのですが、隠岐に訪れる外国人観光客は3泊以上の長期滞在をします。今回、香港から来た皆さんも、3泊4日で隠岐4島を巡りました。香港の皆さんは、隠岐の4島は、それぞれ違う風景と楽しみがあるので、全部を見ることができてうれしかったと言っていました。私も、隠岐4島はそれぞれの魅力があるので、すべて見せることができてうれしかったです。

隠岐の桜を、スマートフォンで写真に収めました。

●桜や風景印で思い出づくり

滞在の間、ちょうど桜が満開だったため、皆さんは五箇地区や、海士の隠岐神社、知夫里島の一宮神社の、きれいな桜の写真を撮って楽しんでいました。

香港は、大都会なので、隠岐に来た目的の一つは、自然を楽しむことだと言われました。まさに、都会から海で隔てられている隠岐がちょうどよかったのでしょう。雄大な海岸、深い森にある樹齢数百年の巨木、きれいな星、透明な海など、隠岐の美しさに驚いていました。

参加者の中には、日本全国の郵便局にある風景印を集めている女の子がいて、隠岐の観光で、三つの風景印を集めることができました。私は、風景印について、初めて知りましたが、隠岐の良い思い出になったのではないかと思いました。

隠岐世界ジオパーク空港で香港ライオンズクラブのみなさんと記念撮影

●隠岐のおもてなしを世界へ

滞在したホテルは、親切に、食事のメニューやお風呂の説明などを英語で作ってくれたおかげで、滞在は、とてもスムーズになりました。

案内していただいたガイドさんは、日本語と英語を交えて話したり、中国語の漢字を書いたりしてコミュニケーションを上手に取るように頑張っていたので、おもてなしの心が伝わりました。

やはり、現地のガイドがいると、体験できる内容が、全く違いますね。

今回、隠岐に来てくれた香港の皆さんはとても親しみやすい方ばかりでした。また、隠岐に来たいと言っていたので、将来的には、香港からの観光が増えるといいと感じました。

隠岐と香港は、今後さまざまな展開を期待できると思いました。

※ライオンズクラブとは
世界200カ国以上で活動する世界最大の社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」の所属するクラブで、地域のボランティア活動、奉仕、指導、援助などを行っています。

八百杉のき損について

4月9日、国指定天然記念物の玉若酢命神社にある、八百杉の大枝が、落下しました。

剥落した幹や、落下した大枝が参道を塞いでいる状況でしたが、建物などに被害はありませんでした。

現在、参道を一部、立ち入り禁止とし、参拝には、迂回路を利用していただいています。

今後は、処置の方法について、樹木医の指導のもとに検討していきます。

大枝が落下した八百杉

迂回路表示図

■お問い合わせ先
教育委員会生涯学習課
電話2-2126

戸籍コーナー

ご誕生

（氏名）	（地区）	（保護者）
高井 結月（ゆづき）	中村	高井 充
澤 莉咲（りいさ）	中町	澤 隆正
平田 叶乃夢（かのむ）	栄町	平田 稔
吉田 仁（じん）	港町	吉田 尚道
冨松 朔太郎（さくたろう）	栄町	冨松 祐樹
村上 陽優（はるま）	栄町	村上 和成

おくやみ

（氏名）	（地区）	（年齢）
井上 冨男	飯田	94歳
齋藤 芳子	原田	83歳
織多 悟	油井	79歳
高梨 金利	都万	94歳
小谷 雄平	港町	68歳

※4月30日までの受付分（敬称略）

ご結婚

	（氏名）	（地区）
夫	藤田 啓寧	港町
妻	脇田 利恵	郡
夫	澤田 誠	東郷
妻	遠藤 いつか	雲南市
夫	野津 陵平	加茂
妻	角脇 春菜	八田
夫	若林 和希	栄町
妻	村上 千穂	伊後

偲びの膳

在りし日の故人を偲び、懐かしい思い出を語らう追膳のお席をご用意いたします。

@5,400円(@5,000 円税別)
@6,480円(@6,000 円税別)
@7,560円(@7,000 円税別)

仕出し膳、お持ち帰り用・霊供用のお膳もご要望で承ります。
送迎バス無料（要予約）

隠岐プラザホテル
OKI PLAZA HOTEL
隠岐の島町港町天神原
TEL/08512-2-0111
FAX/08512-2-0521

広告募集中!

広報「隠岐の島」に広告を掲載しませんか。
●配布世帯数約6,600世帯!
●掲載期間・掲載枠数に応じて各種割引あり
●詳しくは、隠岐の島町役場総務課広報広聴係までお問い合わせください。

電話 2-2111
メール jouhou@town.okinoshima.shimane.jp